

対象州の概要補足説明

ミゾラム州

ミゾラム州はほぼ全土が急峻な山間地で形成され、平地は山間部の谷間にわずかに存在しているのみである。そのため、多くの貧しい農民は移動焼畑耕作によって生計を維持している。2009 年から、焼畑の抑制を通じた森林保護と代替収入源の振興による生計向上を目的とした「新土地利用政策プロジェクト(New Land Use Policy Project)」が実施されており、焼畑面積は減少傾向にある。主な作物は米、じゃがいも、パーム油など。ミゾ族(現地語で「山に住む人」の意)と総称される、様々な部族が住民の多くを占め、公用語もミゾ語であるが、英語も広く使われている。インドの中でも識字率の高い州であり、9 割近くの人々が文字を理解する。

メガラヤ州

メガラヤの住民の 9 割程度が指定部族であるが、彼らは大きく Khasi, Jaintia, Garo の三部族に分けられる。三部族全てが母系社会である。他の北東州と同様、経済活動の中心は山間部での焼き畑農業で、主要作物は米、メイズ、じゃがいもである。この他、バナナやパイナップルも広く栽培されている。石灰岩や石炭など天然資源があるが、大きな産業がないため、石炭は州内で消費されず、バングラデシュへ輸出されている。上述の三部族の他、Kuki, Karbi、ネパール人など少数民族がおり、それぞれが異なる丘陵地帯に居住している。公用語は英語であるが、Khasi および Galo 語も広く使われている。メガラヤ州のチェラプンジは、年間降水量の世界記録を持つ。

マニプール州

マニプール州は、大部分を占める西のマニプール丘陵、東のレタ山脈などほぼ南北に走る標高 1000~2000m の数条の山岳地帯と中央に介在するインパール盆地からなる。起伏の激しい自然条件に加え、同地で発生した反政府反乱などにより、地域の開発は遅れている。農業が中心で、盆地の沖積平野や山岳地帯の段々畑で、主産物の米、麦、豆類が栽培される。主要な天然資源として、石灰やセメントの材料になる石灰岩があり、この他、少量の石炭、コバルト、ニッケルなどを産出するが、まだ調査が行われていない地域も多い。住民はチベット、ビルマ系の Meetei, Naga, Kuki など焼き畑農業を営む山岳民が多い。公用語は英語とマニプリ語(Manipuri/Meetei)であるが、州内では他に 5 言語(Tangkhul, Kuki, Lusai, Hmar, Paite, Thadou)が教育に使われている。年の平均雨量は 2016mm。

ナガランド州

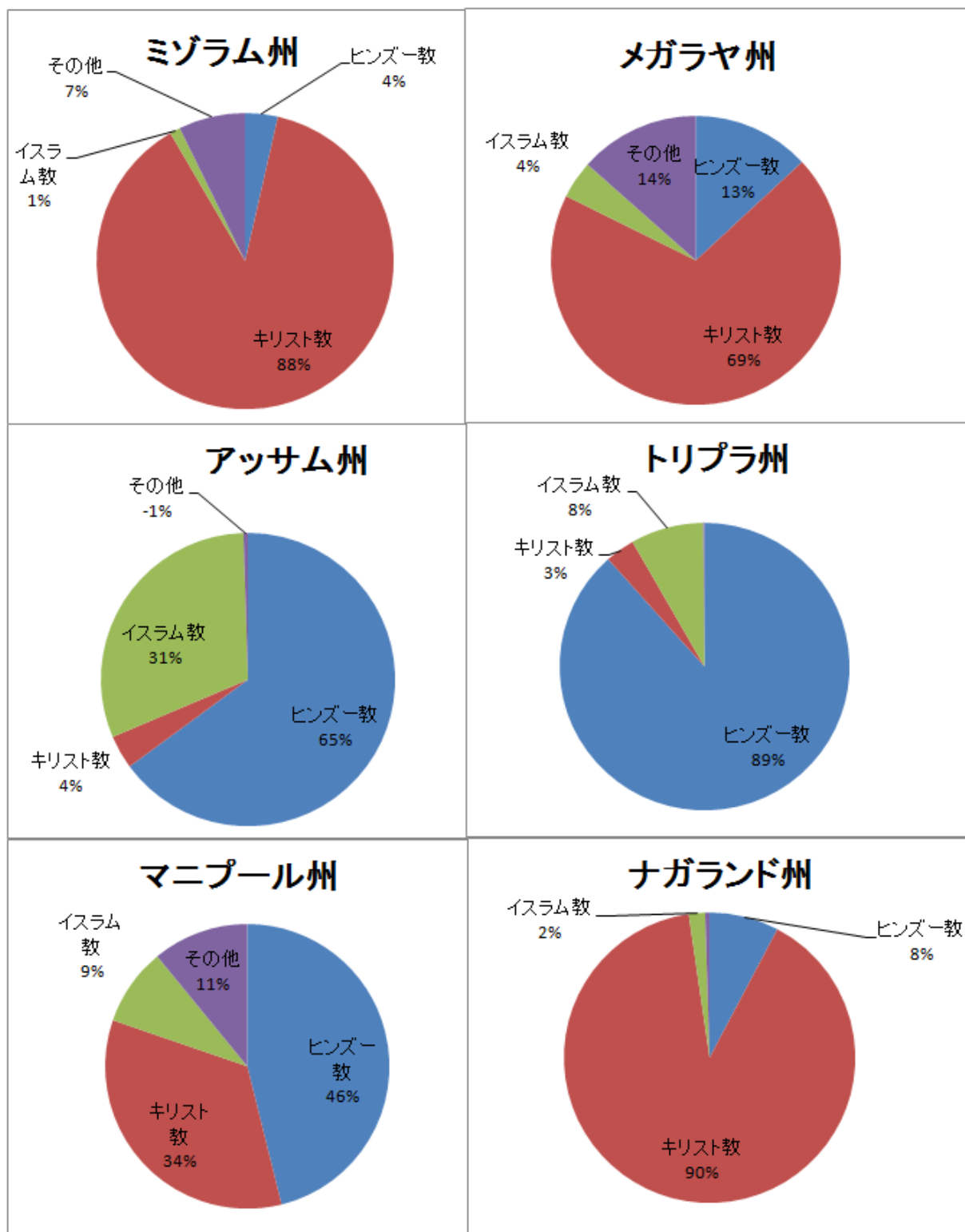
ナガランド州は、アラカン—ヨマ山脈の北辺に位置し、アッサム平野に広がる一部を除き、州のほぼ全てが起伏ある山岳地帯となっている。全般的に州の東側の標高が高く、最も高い地点の標高は 3826m である。山間部での農業が経済の中心であるが、石炭や石灰岩、鉄などの天然資源も豊富である。米やメイズの他、一部のプランテーションではコーヒーや紅茶も栽培されている。先住民族のナガ族が多数派である。公用語は英語であるが、ナガ語も一般に使われているが、部族ごと、また同一部族内でも様々なナガ語の方言がある。

トリプラ州

トリプラ州の丘陵部と谷の連なりは、それぞれ大きく 5 つに分けられる。州内で最も標高が高い地点は 937m であるが、一般的には、海拔 10~600m 内に広がっている。住民の半数以上が農業に従事している一方、州の GDP のうち農業の割合は 1/4 程度にとどまる。焼畑農法による米や豆類、サトウキビなどの栽培が中心で、また主要な換金作物としてゴム、紅茶がある。近年、焼畑面積は減少傾向にある。19 世紀は先住民が多数であったが、ベンガル人が多数移民した結果、今では人口の 7 割程度がベンガル人であり、残りが指定部族となっている。19 の指定部族がおり、様々な言語があるが、コクバラ語 (Kokborok) を話すトリプラ族が最も多い。州の公用語は、ベンガル語とコクバラ語。

アッサム州

北東州の中で最大の人口規模を誇り政治・経済の中心的な位置を占めている。モンスーンによる降雨、そしてブラマプトラ川の氾濫水という湿潤環境の中、人工的な灌漑を用いない天水田稲作が営まれてきた。他の山岳州では、その険しい地形が障害となって人々の移動が制限されるため、各民族の居住域は概して分水嶺を境に隔たれていることが多いが、アッサム州の大部分を占めるブラマプトラ川溪谷の低地部では古くからの往来がさかんであったために、民族間の接触が必然的に増加し、各民族の居住域も不明瞭になっている。州の公用語はアッサム語とボド語で、このほかにベンガル語、ネパール語、ヒンディー語が多く使われる。特にベンガル語は、公用語であるボド語よりも話者が多く、州内の 3 つの district では公用語として使われている。インド最初の油田が開発された他、天然ガス、石炭、石灰岩などの資源がある。



出典: Census of India

図 1 調査対象州の宗教分布